

## 令和2年9月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和2年9月28日（月）午後13時～午後13時40分

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、米澤新聞、読売新聞、毎日新聞、河北新報、  
置賜日報、NHK

<市> 市長、秘書広報課長、担当者、環境生活課長

4 記者倶楽部からの質問事項

- (1) 新たな新型コロナ対策（予防）の予定はありますか
- (2) 「秋の元気回復キャンペーン」などのように、新型コロナで中止になった各種イベントや催しの代替案があれば併せて教えていただきたいと思います。

5 内 容

○秘書広報課長

これより令和2年度9月の定例記者会見を開催させていただきます。初めに、市長から発言がございます。

○市長

はい。それでは9月の定例記者会見質問であります。「新たな新型コロナ対策、予防の予定はありますか」と、2つ目として「『秋の元気回復キャンペーン』などのように、新型コロナで中止になった各種イベントや催しの代替案があれば併せて教えていただきたいと思います。」というご質問にお答えさせていただきたいと思います。

まず1点目の新たな新型コロナウイルス対策、予防であります。1つは、これは国の方針でもありますように、新型コロナ対策としてのインフルエンザ予防接種の助成であります。このことにつきましては、優先的に、接種対象者のうち、インフルエンザの集団的な発生、感染の恐れがあり、自分で感染予防の行動をとることが難しいと考えられる、乳幼児から小学校2年生までの小児に対して、接種費用の助成を行うものであります。ただし、この助成につきましては新型コロナウイルス感染症対策の一環として、今年度限りで実施するものであります。助成対象者であります。接種日において生後6か月から小学校2年生までの市民になります。生後6か月から小学校2年生までというのは、国の基準であります。対象者は大体4,400名を予定しているところであります。助成期間につきましては、10月1日から、令和3年1月3

1日までであります。助成金額としては1回2,000円、1人あたり2回まで助成するという内容になっております。予算総額につきましては1,457万円を予定しております。

今後の予防対策についてであります。今私もびしゃもんのマスクをさせていただいておりますが、より市民の皆さんに感染予防と景気の回復も含めまして、この「びしゃもんプロジェクト」を推進したいと思っております。ただこのマスクは非売品でありまして、市から補助を出している都合上、売買する訳にはいかないということで、配布については主催であります商工会議所青年部さんと、青年会議所さんの方をお願いをしているというのが現状であります。

色々な事業の取り組みの中で、小学生を対象にシールを配布させていただきまして、これも子供たち、小学生の皆さんからは大変好評をいただいているということを教育長の方からお聞きをしているところであります。こういったことで、びしゃもんプロジェクト、この啓発活動をしっかりとして取り組んでいながら、感染予防、あるいは感染対策、そして同時に本市の経済も回るように努めてまいりたいというように考えているところであります。新たな対策、予防としては、今のような内容でございます。

次に、『秋の元気回復キャンペーン』などのように、新型コロナで中止になった各種イベントや催しの代替案があれば併せて教えていただきたいと思います。」ということになります。まず1点目につきましては、これはスポーツ課で担当をしております、全国的な取り組みになっております「オクトーバー・ラン&ウォーク2020」に、米沢市も参加をさせていただきました。この件につきましては「米澤上杉城下町マラソン」を10月11日に開催を予定しておりましたが、中止になったというようなことで、それに代わるものとしまして、一般財団法人アールビーズスポーツ財団が主催する「オクトーバー・ラン&ウォーク2020」に参加することといたしました。

オクトーバー・ラン&ウォークは、10月1日から31日までの1か月間、スマートフォンアプリを利用いたしまして、ランニングやウォーキングの距離を競い合うスポーツイベントとなっております。参加予定の自治体であります。9月1日現在で137の自治体がスポーツタウン対抗戦として、当該自治体の平均距離を競い合う、こういった内容になっております。また個人参加の場合につきましては、1か月間の合計距離で全国規模により競い合うことになっております。なお、本市におきましては独自の取り組みといたしまして、市内の参加者について合計距離を競い合うスポーツイベントとしても取り組んでまいりたいと思っております。

マラソンができなかったものですから、このラン&ウォーク、密になるような状況も無いというような状況の中で対応をしていただきたいと思います。市独自の部分には、参加得点などもある訳でありますので、多くの人に参加をしてもらいたいと思っております。

あとはもうすでに皆さんご承知のとおり、「なせばなるよねざわ秋の元気回復キャンペーン」のキックオフを先々週の金曜日にさせていただいたところであります。中身につきましては既に今配っておりますので、ご承知かと思っておりますので、よろしくお

願いをしたいと思います。9月26日、先週の土曜日は、福田直樹さんのトーク&ピアノライブを伝国の杜で開催しましたが、入場制限で500席の中で半分程度の観客しか入れなかった訳でありましたが、大変すばらしい演奏をお聞かせていただいたと思っています。

そのほかにもこれから色々、米まつりとか、今までやってきた色々な各団体との連携をもとにしながら、出来る範囲のなかでしっかり取り組んでまいりたいと思っています。また色々な各団体、学生さんを中心としまして、花火を上げる計画もあります。今市民の皆さんから募金を募りながら対応をしているという状況があります。それが10月の20日頃というように聞いていたのですが、これも後で申し上げますので、なせばなる秋の元気回復キャンペーンのキックオフの時、花火を打ち上げさせていただきましたが、10月31日には、そのほぼ10倍近い数の花火を打ち上げるということになっております。そういったことで、市民の皆様の少しでも元気回復につながっていけばいいなど、このように考えているところであります。

イベントにつきましてはそんなところで、ただ残念なことに米沢の代替イベントとなる元のイベントは、それこそ何万人、何千人という規模でありまして、そういったイベントはなかなか今現在では開催しにくい状況になってきておりますので、あくまでもイベントはイベントとしましても、こういったキャンペーン的な内容で今取り組んでいるというのが、それぞれの担当での実態でございます。今後ともよろしく願いをしたいというように思います。

以上、ご質問にお答えするような格好でお話をさせていただきましたが、ご質問あればお答えさせていただきたいと思います。私からは以上であります。

○秘書広報課長

市長からの発言は以上となります。これ以降の進行につきましては幹事社にお渡しをしますのでよろしくお願いいたします。

○幹事社

よろしくお願いいたします。まず初めに、こういった形で元気回復キャンペーンとか、あるいはこれからのラン&ウォークと、そういった形で規模を縮小したにせよ、代替イベントを開催できることについて市長の想いを改めて伺いたいと思います。

○市長

はい。1つはやはり代替案でありましたので、元になったイベントというのがあった訳であります。四季のまつりの中でのイベントや、またその他色々な民間団体の色々なお祭り、イベントなどの、歴史をずっと持ってきた地域でございますので、それと同等のものは今の時代にまだ取り組めないという現状がございますが、それに少しでも近づいて、市民の皆さんに少しでも元気になってほしいというか、そういった想いで今回のイベントキャンペーンもできるということについては、大変うれしく思っているところであります。

○幹事社

ありがとうございます。他にありますか。

○記者

観光の面のところでお伺いしたいのですが、「宿で癒されてキャンペーン」は今月末までということと、上杉神社周辺、特に中学生と思われる修学旅行生がたくさん来ているのですが、その辺りも含めて、これから観光のところ、現状どう把握されているか、まだ他に何かテコ入れ必要などところがあるのかどうか、どのように思われているのか教えてください。

○市長

観光客、例えば今お話ありましたように修学旅行生の誘致につきましても、もう年度当初からそういったものに力を入れていこうという取り組みは、観光課でしてきました。県内の小学校、中学校も、県内で取り組んでいこうという動き、あとは近隣の県まで足をのばしたいということでもありますので、そういった意味において、何らかの今まで取り組んでPRしてきた部分も功を奏しているのかなと思っております。

観光全体につきましては、やはりまだまだ観光客の入れ込みについては当然戻っていない状況ではありますが、「宿で癒されてキャンペーン」につきましても色々と県のキャンペーンもありますし、また国の「GoTo キャンペーン」等もありまして、連携とれるものは連携とりながら、少しでも多くの方々にこの米沢においでいただきたいということをまず検討しながら取り組んできております。

ただ今後、コロナが一定程度収まった場合こういった、今までコロナ禍の中で取り組んできた観光誘客施策が後につながっていかないと、これは何ともその場だけということになってしまいます。

やはりそれぞれ、例えば今温泉、旅館なども、努力をしながら感染対策に取り組んで少しでも米沢の魅力をそれぞれの施設で、旅館で検討しながら対応していただいているものというように理解をしておりますので、そういった努力も後につながってくればいいのかと思っていますところでもあります。そういったことで、このコロナ禍のなかで、コロナに負けないでその後につなげていくという対応をしているのではないかと考えております。そういった面についてはこれからの観光客の入れ込みにも期待をしたいなと考えております。

○記者

色々なイベントをやる上では、山形県のガイドラインというものが色々な形で制約になっている部分もあるかと思えます。例えばイベントでも何人以上は出来ないとか、花火大会も然りですが、米沢市として県の現状のガイドラインに対して、見直しをお願いする部分とかそういうものはございますか。

○市長

県のガイドラインもあるのですが、基本的には国のガイドライン、それがこの間あのような格好で発表されておりますし、イベントにつきましても、1万人や2万人程度のお祭りでない訳ですよね、春の川中島とかこれから開催される雪灯籠も。そういったもので、規制緩和とか全くそういったものとかは、国の緩和そのものが無くならないと、開催するに非常に厳しい分野があるなと考えております。県に対して、

今1万人とか、大体収容人数の半分くらいとか、県も国に準じてやっておりますので、県に対してどうこうということは今考えていません。

○記者

商工課で取材したのですが、約200億円くらい融資制度で申し込みがあるという話だったのですが、今回どのような支援をなさるおつもりですか。

○市長

支援といいますか、米沢では217億円くらいの融資額になっていますよね。県の商工振興資金の話ですよね。それで、この利子補給、あとは補償料も含めまして、この217億円の申請実績の中で、米沢市が今後10年間に負担していかなければならない額が、11億円弱になっております。そして地方創生の交付金、認められているのは5年間の部分だけです。残りの5年間は、交付金事業には該当しない事業です。大体この事業そのものが全国的にはなくて山形県独自の支援策でありますので、そういったことを考えた場合に残り5年間の地方創生の臨時交付金で認められる部分というのは、大体何億円になるでしょうか、8億円までいかないと思っております。残りの3億円程度のものについては、やはり一般財源でしていかなければならない。この緊急経済対策、利子補給制度というものは、企業にとっては大変ありがたい制度だったのだろうなと思っております。これも県の方針の中で、借り換えも認めたということもあって、特に米沢は山形市に次いで2番目くらいにこの額が大きくなっているのではないかなというように、山形の市長さんとお話したときも、山形で20億円くらいかなという話をしておりました。今後の米沢市の財政負担も非常に厳しいものになっていくというように思っております。なんとかこの申請実績、融資額で、乗り切っていただきたいものだなと、その他に持続化給付金とか国の政策とかありますので、県内の景気もまだ低迷しているという発表もありましたし、ただ少しずつ上向きなっているという状況もあるようでありますので、我々が今日まで色々支援をしてまいりました。そういった中で少しでも上向きなっていくことが、色々事業補助、支援をしてきたことに報いられるのかなと思っております。まだこの先どうなっていくかというところが、先が読めない部分もありますので、今後の対応については色々対応していかなければならない部分も出てくるのか、その辺りは今後の対応を見てからということにさせていただきたいと思っております。

○幹事社

その他質問ありますか。

○市長

では、熊が市内中央部に出没したということが朝の報告でありまして、非常に心配しておりました。熊につきましても、市内の山間部で毎日のように目撃情報が出ておりましたが、まちの真ん中、特に小学校のグラウンドに最初そういった形跡が見られたということで心配しておりましたが、その後の経過について、環境生活課長の方から報告をさせていただきます。

## ○環境生活課長

はい。本日の熊の目撃情報でございます。朝7時半に南部小学校のグラウンド、こちらの方で足跡が発見されたということで、警戒をしていた訳でございます。その後、11時になりまして、熊の目撃情報があったということで、それがヤマザワ相生町店でしたが、こちらに熊がいるというような連絡が警察を通じてありまして、現場の確認に向かったところでした。その後熊はどんどん移動しておりまして、市立病院の駐車場に移動し、河川敷の方に移動したというようなことで、河川敷周辺の方を警戒しておりました。警察、猟友会、置賜総合支庁の環境課、米沢市の環境生活課で、周囲をずっと巡回しながら見ていたのですが、その状態では熊を発見することができずにいるところでした。ただそのような中で、河川敷の方で、作業されていた、工事されていた方がいらっしゃって、その方から現場を巡回していた猟友会の方に教えられたのが、市立病院のところから最初は上流、南の方に行ったという話で見ていたのですが、その後下流の方にも向かったのを見たという話で、今度は下流の方に向けてもずっと巡回をしているところです。ただ、河川敷の藪の中におそらく入ったのではなかろうかということで、搜索範囲といいますか警戒する範囲も広がっております。その中で、周辺の住民の方々にも注意喚起ということで広報車で回るよう、担当の方で進めているところです。そんな状況であります。

## ○記者

改めて街中で出たことについて、市長の感想といいますか、今後の警戒呼びかけも含めてお願いします。

## ○市長

1か月くらい前だったでしょうか、市内中心部にカモシカが目撃されました。どうやって渡って来たのかなと思っておりましたが、今日は熊が、第1報は南部小学校のグラウンドでそういった形跡が確認されたということで、市街地でありますので、その後どうしたのかなというように心配をしていたところでありました。その後まさか山に帰ったのではないだろうとは思っていたのですが、今日になってスーパーのヤマザワ相生町店さんの敷地内で確認されたということで、そこから市立病院の看護病棟のところとか、そして今話ありましたように河川敷の方に逃げていったというところの報告をいただいているところでもあります。私からしてみると、常に山間部では熊の目撃情報が出ている訳ではありますが、まさか市街地の中で熊が発見されるというような状況は、本当に驚いたというのが、何よりの最初の感じであります。正直言って私もあの近くをまだ暗いうちに散歩しているのです。その日の動きによっては熊がいたであろうところの脇の道路を通ったりもしている部分があって、これはもしかすると危ない目にあっていたのかなと思いついて聞いておりました。

とにかく市民の皆さんに怪我の無いようにしていかなければならないということで、学校の子どもたちもそうありますが、朝の庁議でこの話が出たときは、米沢市全体として今熊がどこにいるかということなども大きな課題になる訳であるので、とにかく市民に対して広報なり、安全を期すような取り組みをしっかりとやっていただ

きたいというお願いをしたところでもあります。いずれにしましても、どこから、どの熊がどのようにこの市街地に渡って来たのかということについては、まさか熊に聞いて答えてもらえる訳もないでしょうが、どういう経路だったのかということについても、一定程度どこまで追跡できるのかだけでも、市街地に堂々と姿を現すようなそういうことが無いように注意をしていかなければならないと。そういった部分では猟友会、警察もそうではありますが、しっかりと連携を取りながら、市民の安全を確保していかなければならないと、このように思ったところでした。

○記者

もし課長の方から、よくある「鈴を持ってください」とかそういう具体的な市民への呼びかけがもしあればお願いします。

○環境生活課長

まず河川敷周辺、熊が潜んでいそうなところですね、そういったところは十分注意していただきたいということと、もし万が一にでも発見、目撃するようなことがありましたら、速やかに警察若しくは市役所の方にご連絡をいただきたいということをお願いしたいと思っております。

○記者

市の把握として大きさは何メートルという言い方をしていますか。

○環境生活課長

大きさ的などははっきりしたところは分かりません。

○市長

大体私が聞いているのは、足跡とかそういったものから、大体1メートルくらいではないかと、そういった話を聞いております。

○記者

警察とか関係団体の哨戒というのは何人くらいの規模ですか。

○環境生活課長

現場に猟友会から3名、あと県の方と環境生活課、我々の方で現場に向かっているのが3名、それから警察の方は車両も結構出ていましたし、ミニバイクとかで河川敷の方も走っておりましたので、人数は警察の方はちょっと分かりませんが、広域に巡回していただいております。

○記者

学校は集団下校するとかあったそうですが、もし夕方の段階で市としてとった対策がまとめとしてあればお願いします。

○環境生活課長

今日は中学校はご存知のように、中体連の大会の振り替えということで休みになっているところではありますが、教育委員会から各学校の安心メールで、注意喚起として保護者に対してのメール送信がされているということを伺っています。以上です。

○秘書広報課長

それではこれを持ちまして、令和2年9月の定例記者会見を終了させていただきます。

す。

○市長

どうもありがとうございました。